

1. 指定管理者名	公益財団法人 多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	平成 28 年 4 月 1 日 ～ 平成 33 年 3 月 31
3. 業務の範囲	(1) 脇之島公民館の施設及び設備の維持管理に関すること。 (2) 脇之島公民館の使用許可に関すること。 (3) 使用料の徴収に関すること。 (4) 公民館事業の実施に関すること。

4. 採点表								
評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点 (新型コロナウイルスの影響度合いを加味し、2月までの利用率での比較) 平均値比(104%)=利用率(26.3%)÷25.4%(上記(2)適用)	105%未満～95% 4点 年次報告書P130 (利用率) * 平均値比(98.4%)＝25.0%÷平均値(25.4%) 【利用率(部屋別)】 ・大ホール:42.2%(平均値比105.5%＝42.2%÷40.0%) ・研修室1:25.5%(平均値比89.2%＝25.5%÷28.6%) ・研修室2:27.8%(平均値比92.7%＝27.8%÷30.0%) ・和室1:17.5%(平均値比96.7%＝17.5%÷18.1%) ・和室2:26.2%(平均値比109.2%＝26.2%÷24.0%) ・料理実習室:10.5%(平均値比91.3%＝10.5%÷11.5%)	4点	
				②利用人数	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点 (新型コロナウイルスの影響からH31.4月からR2.2月までの利用人数累計にH31.3月利用人数を含む) 平均値比(110%)=利用人数(延べ35,630人)÷32,275人(上記(2)適用)	105%以上 5点 年次報告書P131(利用人数(全体)) * 平均値比(106.3%)＝34,311人÷平均値(32,275人) 【利用人数(部屋別)】 ・大ホール:16,102人(平均値比104.9%＝16,102人÷15,346人) ・研修室1:5,588人(平均値比112.8%＝5,588人÷4,956人) ・研修室2:5,405人(平均値比112.7%＝5,405人÷4,796人) ・和室1:2,699人(平均値比96.7%＝2,699人÷2,791人) ・和室2:3,264人(平均値比102.9%＝3,264人÷3,172人) ・料理実習室:1,253人(平均値比103.2%＝1,253人÷1,214人)	5点
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)	15		仕様書以上:15～12点、仕様書に忠実:11～9点、仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、それ以下:2～0点	「第72回優良公民館表彰」受賞 地域の課題に向き合った事業展開、学校や地域機関と連携し、工夫した事業「世代間交流事業」は、子どもを核とした世代間の新しいつながりが評価された。 年次報告書P132～136(市の事業の企画・運営・実施状況一覧) ①公民館まつり ・マイタウンフェスティバル(展示部門538人 ・ステージ部門410人) ②地域意識醸成事業事業(ほわいとカレッジ) ・ウォーキングデー・フレイル予防講習160人、ふれあい昼食交流会55人、夏祭り盆踊り講習会他1,125人、第34区スポーツ祭り198人、第34区福祉映画会&ほっとサロン161人、出前公民館「愛唱歌を歌おう音楽交流会」94人、第34区区民大会むかし遊び420人、ふれあい医療講座全11回開講326人 ・年間教室 指先運動で大脳活性！初心者コース折紙教室 114人、見て・考えて・折る！ワンラックアップコース折紙教室 103人、折紙指導者育成！中級から上級へステップアップ折紙教室 110人 ・公民館交流 ふれあい囲碁・将棋交流会4回開催134人 <u>*開催数56回延べ3,948人</u> (新型コロナウイルス感染拡大防止のため4回中止有)	仕様書以上 15点 「第72回優良公民館表彰」受賞 ・少子高齢化が進む地域にある公民館で、高齢者の健康推進や生きがいづくり、子どもの居場所づくりなど地域課題に向き合った事業展開、学校や地域機関と連携した事業を工夫した「世代間交流事業」は、子どもを核とした世代間の新しいつながりに寄与している。 ・子どもの居場所づくり(放課後)や公民館利用が少ない男性に特化した講座なども実施している。 ・脳トレ教室に小学生がサポーターとして参加。中学生のボランティア参加も目指している。 ・自治会や福祉団体を交えた地域協働事業「ほわいとカレッジ」の実施している。 ・公民館が地域の諸団体、学校等との企画連絡調整の役割を担い、各年代層が集う「夏まつり」の参加を促す盆踊り講習会を開講、地域のコーディネーターとして一役を担った。 ・地域の未来を担う小・中学生を対象にした地域の魅力を発見するための多様な体験学習の場を提供している。(中学生ボランティア活動) ・地域への愛着と誇りを持った青少年の育成を目標に事業等に取り組んでいる、地域づくり講座(どんと焼き)で活動した中学生が地域事業の要となった。 ・公民館 は人づくりという原点に立ち、脳トレサポーターの人材を育成し、将来を見据えた(高齢化)取り組みを実施している。 ・小学生や中学生にも活躍の場があり全世代型の運営が行われている。 ・地域住民の健康を応援「トータル健康サポート事業」で新規通期講座を開講する等、受講者のニーズにいち早く対応することで、満足度もアップして大きな集客となった。 ・介護予防脳トレ教室・ほっとサロン公民館が発信するだけの講座ではなく、取組みについて理解し、協力する実行委員会によって活性化し新たな事業展開へ進んでいる。 ・団塊世代対応:公民館利用が少ない男性に特化した事業を展開し、めて公民館を利用した方が他の講座を受講されることにもつながった。 ・子ども事業(親育ち4.3.6.3たじみプラン協賛事業)子ども事業の充実。 ・ギャラリーを活用した事業展開に注力し、世代間交流も兼ねた講演会を3回開講、地域住民の公民館への利用促進にもなった。 ・ふれあい囲碁・将棋交流会では、他施設連携事業を展開。	15点
				(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	内容・事業数等が期待以上:15～12点、内容・事業数等が例年通り:11～9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8～7点、内容・事業数等が例年より劣る:6～3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る 2～0点	年次報告書P137～147(文化事業一覧) ・中学生ボランティアが親育ち4・3・6・3たじみプラン協賛事業に初参画。 ・ギャラリー展示＋講演会により、一般参加者と小学生と一緒に学ぶ場を提供 ・市の政策課題:21事業 13,563人、市の政策課題:4講座 1,408人、トータル健康サポート14事業、146講座1,845人 ・サロン事業:2講座 245人 (脳トレ体験&囲碁将棋コーナー他) ・団塊世代対応:男性限定 蕎麦打ち体験講座 12人等、34講座805人 ・その他の文化講座15講座 1,269人、リラッサンテ・フルート・コンサート 89人 ・わきのしまギャラリー 18展 33,596人 ・たじみオープンキャンパス 2講座 82人 <u>事業数数85 開催数 314 回延べ 54,059 人</u> (新型コロナウイルス感染拡大防止のため21回中止有)	期待以上 14点 適正(普通) 2点 適正(普通) 2点 適正(普通) 2点 適正(普通) 2点 適正(普通) 2点
2	施設管理状況 (13点)	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	10	①清掃	年次報告書P148①清掃 ・施設内清掃(基準・毎日)を実施。・特別清掃は(株)オレンジママに業務委託(再請負届、提出済み)・樹木、植栽、病害虫駆除は造園業に委託(年1回のみ)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点
				②保守・点検	年次報告書年次報告書P148(②保守・点検) ・専門業者に委託して実施	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
				③保安・警備	年次報告書P148(③保安・警備) ・機械警備業務を委託して実施(毎日)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
				④小規模修繕	年次報告書P149(④小規模修繕) ・有償修理 16件 総額 676,302円	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
				⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)	年次報告書P150(⑤危険箇所の把握) ・全職員担当制で行い、事故の未然防止を図っている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
		(2)その他管理業務の実施状況(3点)	3	①文書管理	年次報告書P150(①文書管理) ・多治見市ファイリングシステム維持管理に沿った、基準表での文書管理をしている。 ・書類受付及び提出処理簿を活用し、正確かつ迅速に全職員で管理。個人情報を含む書類の適切な管理をしています。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	2点

2	施設管理状況 (12点)	(2)その他管理業務の実施状況(12点)	②環境への配慮	12	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する (期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②4項目の合計点とする。	年次報告書P151(②環境への配慮) ・職員での施設内点検(日常、月次、半年)と巡回体制の強化に努めている。 ・優先順位にそってLEDに交換(サロン・ホール・調理室) ・駆除業者による、空間噴霧での害虫予防を行い衛生的に管理してる。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	8点	
			③バリアフリー			年次報告書P151(③バリアフリー) ・車椅子・手摺の点検及びメンテナンスを毎月行い、安全に利用できるようにしています。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
			④備品管理			年次報告書P151(④備品管理) ・定位置を決めて保管をし、利用者が使いやすいようにしています。 ・調理室の使いやすさと安全面を考慮し、手が届かない上段収納を整理し、ガラス戸をはずした。また、棚に写真付きラベルを貼り使用後の食器の収納場所をわかり易くしました。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
			⑤個人情報保護			年次報告書P151(⑤個人情報保護) ・個人情報の取得は必要な範囲に限定し、その目的を明確にし、本人の同意を得た上で行っている。 ・個人情報データの廃棄徹底 データは、シュレッダーにかけて処理、焼却場へ持ち込んでいる。 ・個人情報が掲載されたデータは、施錠のできるキャビネットに保管。	適正(普通) 2点	適切に実施されている。 ・個人情報管理の要点を掲示し職員に徹底している。		
			⑥事故等への対応			0 事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	年次報告書P151(⑥事故への対応) ・救急搬送の事例が2件、加入保険を適用したケガ等が1件あり、全て適切に対応。	事故なし・対応に不備なし 0点		適切な対応を行っている。
3	当該施設の経営状況 (5点)		①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入÷支出＝21,718,374÷20,716,674＝105%	105%以上 5点		5点	
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、適正(普通):7～5点、不備あり:4～1点	年次報告書P152・お客様アンケートにより利用者のニーズを把握し、事業計画に反映した結果、新規利用者の獲得につながり、利用人数、使用料収入、事業収入ともアップとなった。 ・年間講座数(通期講座含む)アンケート結果(666名)事業の満足度及びお客様に寄り添った職員の接客は高評価をいただいた。 ・地域の「夏祭り」という伝統文化再興の為、地域の要望に応じて公民館がコーディネーターとなり、学校PTAと連携し盆踊り講習会を3日間実施。 ・わきっ子あつまれ放課後クラブの「灯籠づくり」とのダブル企画は、地域社会のニーズに沿った事業の広がりを見せた。 ・利用が特に少ない男性に特化した多様な事業を実施して、新たな公民館利用者層の取り組みが効果をあげた。 ・昭和のレコードを楽しむ会⇒昭和のレコードコレクションを借用し、CDにはない深みのある音楽を楽しんだ。 ・男性限定 蕎麦打ち体験⇒12名の男性が参加。	期待以上 8点	要望に対し、迅速かつ適正に対応した。 脇の島地域が置かれている状況を踏まえての事業展開を行った結果、事業収支105%を達成。 成果指数:定員に対する応募数100% 講座に満足をして頂き、参加者が参加者と呼ぶ大きな成果を上げている。 ・年間を通して実施しているアンケート結果から、利用者ニーズに応じて利用促進に向けた対策と事業展開で、好調な実績となった。 ・部屋の利便性の向上とお客様の要望に応えた備品の充実 効果:卓球台を新品に交換し、公民館講座「卓球クラブ」への参加者が昨年度より増えた。 ・フェスティバルでは、初めて中学生ボランティアが活躍、世代間交流の場ともなった。	8点	
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは4点とする	年次報告書P153・「健康サロンわきのしま」参加者調整:ホールで安全に体操を行えるよう定員60名で募集したところ70名の申込みがあり、昨年度の落選者の反応を教訓に検討し、今年度は原則全員参加で公開抽選会を実施し、結果、昨年度のような不満の声は上がらず全員に納得していただいた。 ・公民館・脇の島事務所の利用者から、満車で駐車場に停められないとの苦情があり、代替駐車場を紹介。	苦情なし・適正(普通) 4点	苦情に対して、迅速かつ適正に対応した。	4点	
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15～12点、適正(普通):11～9点、普通未満～物足りない:8～0点	年次報告書P153 ・地域の連携・協力(地域サポーター＋中学生ボランティア＋経験豊かな人材)により様々な事業を展開し、 文化事業収入目標額1.2倍 を達成。 ・会員が減少しているサークルの会員増加のための対策「ギャラリー＋体験講座」のプラスアルファで、会員が増加し同好会の存続が可能となった。 ・子ども主体のサークル活動がより活発になるように運動器材購入、地域への活動の場の提供等の支援を実施。 ・地域サポーター介護予防脳トレ教室・ほっとサロン⇒高齢者の認知症予防と仲間づくりを支援するサポーターとして企画から運営までを担っている。 ・中学生ボランティア⇒ ボランティアを募集し本事業への参画を実現。 ・経験豊かな人材⇒ お正月飾り・門松づくり 地域の伝統行事が少ない環境の中、ボランティアを募集して、伝統行事の継承と地域交流にも繋がっている。 ・図書室が事務所からは「死角」となっていたので、ガレージミラーを設置及びギャラリー展示用のパネルに耐震転倒予防留木を設置。	期待以上 14点	より良い施設運営・事業実施のための提案がされている。 ・年間を通してアンケートを実施し、ニーズを把握し、事業を展開している。 ・部屋の利便性の向上とお客様の要望に応えた備品を充実している ・卓球台を新品に交換し、卓球マシンを利用する個人のホールの利用が増加及び和室の立机を増やすことにより利用増となった。 ・新型コロナウイルス拡大防止対策の強化を早期に実行し、利用者の安全管理に努めている。 ・会員が減少しているサークルの会員増加のための対策を行い解散を回避している。 ・参加から参画事業への事業推進を行い、公民館と地域機関とが連携し、地域課題を共有して協働事業を実行している。	14点		
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	適正に実施されている	遅れ・不備なし 減点なし	適正に実施されている	0点		
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	なし	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	なし	0点		
合計			##	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下					合計89点	極めて良好
全体的な評価 ・安心・安全・快適な施設管理に努めている。・地域課題・お客様の要望に応え、笑顔がふられる運営を行っている。 ・子どもの居場所づくり(放課後)や公民館利用が少ない男性に特化した講座なども実施し、利用の拡大を図っている。 ・本年初めて中学生のボランティアが事業に参加し、参画も担っている。 ・急速な少子高齢化が進む地域において、世代間交流事業に注力している。 ・子供を核とした世代間の新しいつながりの形成に寄与している。										